（重要な債務負担行為）

契約件名	契約金額	翌期以降支払金額
（郡元）環境バイオ研究棟等改修施設整備等事業　一式	4,805,910千円	3,014,674千円
練習船　一式	4,891,388千円	1,769,901千円

（金融商品に関する事項）

１．金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については預金、国債、地方債及び政府保証債等に限定し、資金調達については国立大学財務・経営センターからの借入れに限定しております。

資金運用にあたっては国立大学法人法第35条が準用する独立行政法人法第47条の規程に基づき、公債のみを保有しており株式等は保有しておりません。国立大学財務・経営センター債務負担金及び長期借入金の使途は附属病院の整備資金であり、文部科学大臣の事前承認に基づいて借入れを実施しております。

２．金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額（＊１）	時価（＊１）	差額（＊１）
⑴　投資有価証券及び有価証券満期保有目的の債券	2,817,620	2,824,509	6,889
⑵　現金及び預金	7,426,513	7,426,513	—
⑶　国立大学財務・経営センター債務負担金（＊２）	(5,028,097)	(5,597,278)	(569,181)
⑷　長期借入金（＊３）	(8,232,837)	(8,420,659)	(187,822)
⑸　未払金	(6,176,470)	(6,176,470)	—

（＊１）負債に計上されているものについては、（　）で示しております。

（＊２）国立大学財務・経営センター債務負担金には、一年以内返済予定国立大学財務・経営センター債務負担金を含んでおります。

（＊３）長期借入金には、一年以内返済予定長期借入金を含んでおります。

（注１）金融商品の時価の算定方法

⑴　投資有価証券及び有価証券

これらの時価について、取引金融機関から提示された価格又は将来キャッシュ・フローを国債の利回りに信用スプレッドを上乗せした利率で割り引いた現在価値によっております。なお、譲渡性預金については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑵　現金及び預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

⑶　国立大学財務・経営センター債務負担金及び⑷　長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定しております。

⑸　未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（賃貸等不動産に関する事項）

当法人は、鹿児島市その他の地域において、賃貸等不動産を保有しておりますが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

（資産除去債務に関する事項）

１．資産除去債務の概要

石綿障害予防規則等の規定に基づく建物のアスベスト除去義務、ダイオキシン類対策特別措置法の規定に基づく焼却炉のダイオキシン除去義務、特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律の規定に基づくフロン除去義務、放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律の規定に基づく放射線同位元素等を使用している建物の放射線の除去義務、及び土地の賃貸借契約等に伴う原状回復義務であります。

２．資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を取得から１～19年と見積もり、割引率は、0.129％～2.083％を使用して資産除去債務の金額を計算しております。

３．当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

期首残高㈱	148,239千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	—千円
時の経過による調整額	2,255千円
資産除去債務の履行による減少額	—千円
その他増減額	—千円
期末残高	150,495千円

㈱　当事業年度より「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」（「「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」の改訂について」（国立大学法人会計基準等検討会議　平成23年１月14日））及び「「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」に関する実務指針」（文部科学省、日本公認会計士協会　平成23年２月15日最終改訂）に基づき、資産除去債務に係る会計処理を適用したことによる期首時点における残高であります。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費（「第84　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89　資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	35,144,099	428,778	501	35,572,376	9,221,494	1,451,349	7,958	—	7,958	26,342,923	
	構築物	1,980,211	18,882	4,407	1,994,686	973,524	123,403	—	—	—	1,021,162	